

# ハコモノ優先やめて、安心野菜、加工、担い手育成…などの実績 一つ一つ積み重ね 甲良から つくる楽しさ「安全・安心」の発信めざして

5月29日、6月議会が開かれるにあたって議会運営委員会が開催され、議案審議の日程などが協議。西澤議員が傍聴しました。提案予定の案件は、国の緊急経済対策による9800万円を主な内容とする平成21年度補正予算案や人事院緊急勧告にともなう夏期一時金0.2ヶ月カットの「職員給与改定」ほか合計16件。「補正予算」を委員会に付託するかどうかの協議では4日の全員協議会で充分、その後に本会議を開会して、早く終われるようになるなどの意見が出されましたが、最終的に右日程の通り確認されました。一般質問は5日、建部議員、西澤議員、宮寄議員の順で行われます。

「農業が元気でこそ町民も生き生き、甲良町も元気」…。そのために何が必要か?? 難関を克服する知恵と勇気を集める時では!!

西澤議員が27日に提出した一般質問の要旨を紹介します。

## 、甲良ふるさと交流村計画について

「交流村」の各施設およびその事業を支える基礎があるのか、あるいは、いかにして育てるのかを問う。また、それらを基礎に施設建設に着手できる展望が開けているのか、「着手できる」とするなら何を根拠にしているのか。去る

25日の幸田町の視察も交えて、町長・行政の姿勢、見解を問う。

- 1、甲良町めがけてお客が集まってくる特産品および「群を抜いた」魅力は。
- 2、生産・出荷を担う生産者、とりわけまとめ役、責任者、指導的役割を果たしていただく方々は特定できる状況か。
- 3、生産者団体育成の現状は。
- 4、どのようなNPOを想定しているのか。そのNPOはどのような実績のある団体か。
- 5、コンビニエンスストアの位置づけが不明朗では。地元の力だけでは困難と考えている表れではないか。
- 6、経済活動・収益事業の厳しさか

ら逃れることはできないのでは。通行量と入込客数。投資費用と収益。出資の意義。

7、今4月に提示のあった「検討課題」は本計画の「入口」に進むかどうかで、まったくの一からのスタートを想像させる。「拠点施設建設ありき」から始まった矛盾だと考えられる。「農業振興」「地域振興」のためには何が必要かの論議こそ優先するべきでは。

8、先般視察した幸田町の取り組みから何を学ぶか。

## 、定住自立圏構想

- 1、「中心市宣言」に対する評価は。
- 2、彦根市の「総務省から副市長」をどうみるか。「関係省庁との調整をより円滑に...、政策課題への対応強化...地域振興の一層の推進につながる」と理由づけているが、はたしてそうだろうか。
- 3、圏域内の各自治体が持つ課題を優先して取り組むべきでは。
- 4、民主的手続き。共同事業の論議と具体的作業過程の公開、町議会(住民代表)の参加に道を開くべきでは。

## 6月議会日程

- 4日9:00 全員協議会(議案説明など)
- 5日9:00 本会議開会、提案、一般質問など
- 9日9:00 予算決算常任委員会
- 12日9:00 本会議開会

本会議傍聴にお越しください

## 、町民のくらしと 営業の支援を

経済危機が広がる中、制度融資の利子・保証料の補給を、「住宅リフォーム制度」の創設を。各種減免制度の周知を。高齢者(当面65歳以上)のプール利用料金の軽減を。

愛知県幸田(こうた)町道の駅視察の一コマ。後に「伸明の視察報告」をお届けします。



## 甲良民報

2009年5月31日 419号  
発行責任: 日本共産党甲良町支部  
代表: 西澤伸明 甲良町在土 463  
Tel. Fax 38-4949